

- (4) 日常英会話ができること
- (5) JFが別途指定する派遣前研修の全日程（約1か月）に参加できること
- (6) SNS、ウェブサイト等を活用して本プログラムの広報や活動についての情報発信に協力できること
- (7) 基本的なパソコン操作ができること（Eメールの送受信、簡単な文書や資料の作成など）

※上記の申請資格は、派遣先により異なる場合があります。

派遣地域

インドネシア、カンボジア、タイ、台湾、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ラオス

派遣期間

約3か月間～約8か月間

支給内容

往復航空券（エコノミークラス割引運賃）、旅費、滞在費等

※住居はJFが提供します。

備考

- (1) 募集情報等は、日本語パートナーズ派遣事業のウェブサイト（<https://asiawa.jp/asiawa.jp/partners/>）に掲載します。
- (2) 派遣地域や派遣期間は予定です。変更となる場合がありますので、ご注意ください。

5-2) 大学連携日本語パートナーズ派遣

申請書略号: AC-IP
担当: 日本語パートナーズ事業部事業第2チーム

日本国内の大学等で日本語教育を専攻する学生を、ASEAN諸国を中心とするアジアにおける高等教育機関等に大学連携日本語パートナーズとして派遣し、現地日本語教師・学習者を支援するとともに、現地の人々との相互理解を促進し、深めることを目的としたプログラムです。

申請資格

日本語教師養成課程を有する日本国内の大学・大学院・短期大学（以下「連携大学等」）

派遣期間

2023年6月1日以降に出発し、2024年3月20日までに帰国する、1週間以上の期間

実施方法

JFと連携大学等の間で、学生の派遣先、時期、期間、人数等実施の詳細を協議し、合意書を締結します。

派遣先及び支給内容

派遣先	ASEAN10か国、中国、台湾
被派遣者	日本語を母語とする学生及び日本語母語話者相当の日本語能力を有している学生
支給内容	<p>JFは共催分担保金として以下の経費を支給します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・往復航空賃（エコノミークラス割引運賃、空港諸費用含む） ・住居費（180日分を上限とします） ・海外旅行傷害保険料（180日分を上限とします） <p>※上記項目は、JFの定める上限額の範囲内で支給します。 ※原則として食事代は支給しません。 ※当該派遣に国や、国の関連機関からの奨学金、助成金の併用は認められません。 ※JFの共催分担保金の使途と、他の団体からの助成金や寄附金の使途が、同一の経費に重複することは認められません。</p>

選考方針

- (1) 全プログラム共通の選考方針はp. 2をご覧ください。
- (2) 以下のような観点から審査の上、採否を決定します。
 - ア 連携大学等における日本語教師養成課程の位置づけ及び内容（特に、単位が付与される日本語教育実習を優先して採用）
 - イ 連携大学等及び受入先機関における参加学生への指導体制
 - ウ 連携大学等及び受入先機関による派遣期間中の参加学生の安全管理体制
 - エ 期待される具体的成果
 - オ 連携大学等と受入先機関との協力関係
 - カ 申請者側（大学及び参加学生等）による一定程度の自己負担を含む、適切な予算計画
 - キ 事業実施計画

採用実績（参考）

採用27大学261名（令和4年度大学連携日本語パートナーズ派遣）

申請締切

2022年12月2日正午（必着）

結果通知

2023年4月初旬

備考

申請書提出方法等については、担当部署までお問い合わせください。